



令和7年6月4日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社
代表者名 取締役社長 中原 巖
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役執行役員 田中 邦彦
事務管理本部長
(TEL 03-5365-2500)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、令和7年6月4日開催の取締役会において、令和6年6月4日に開示した資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状を分析し、改善に向けた取組方針をアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）」をご参照下さい。

以 上

資本コストや株価を意識した経営 の実現に向けた対応について (アップデート)



日本基礎技術株式会社
Japan Foundation Engineering Co., Ltd.

1. 数値目標(2024年6月4日 開示)

企業価値の向上に向けて、当社は2024年6月4日に以下の数値目標を定めました。

【長期】

最終的な目標 : **PBR 1倍**を達成する。

【短期】

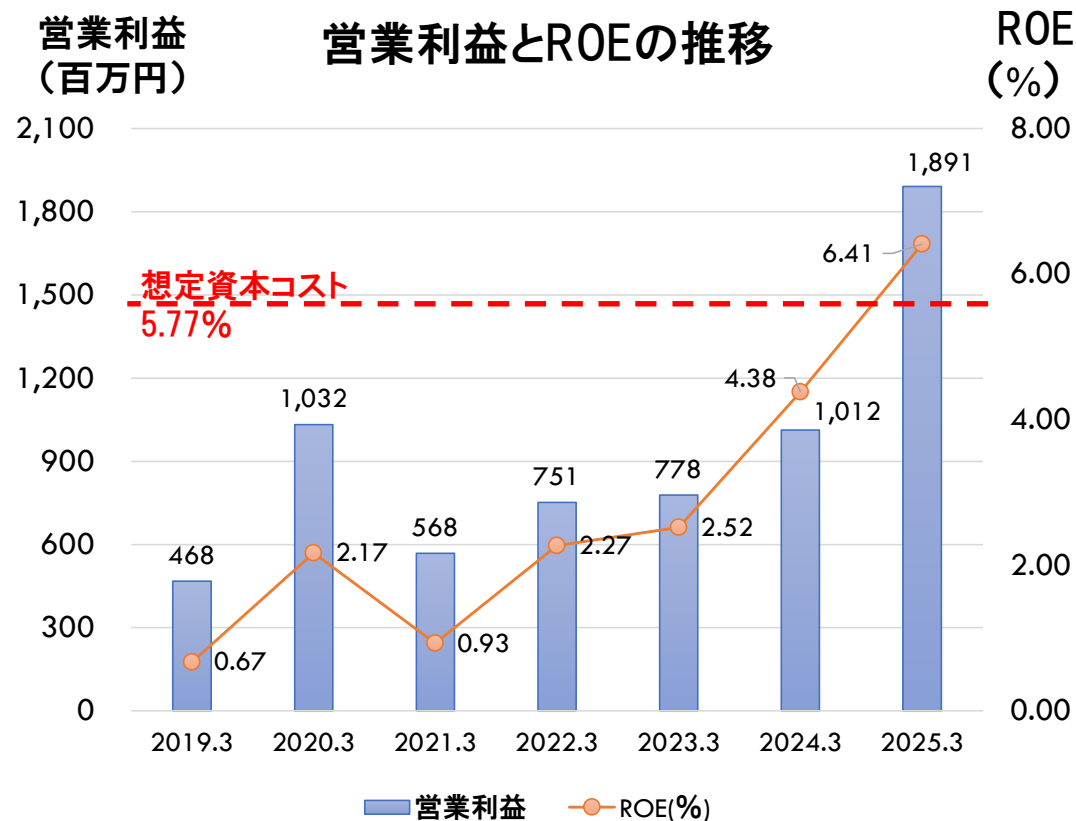
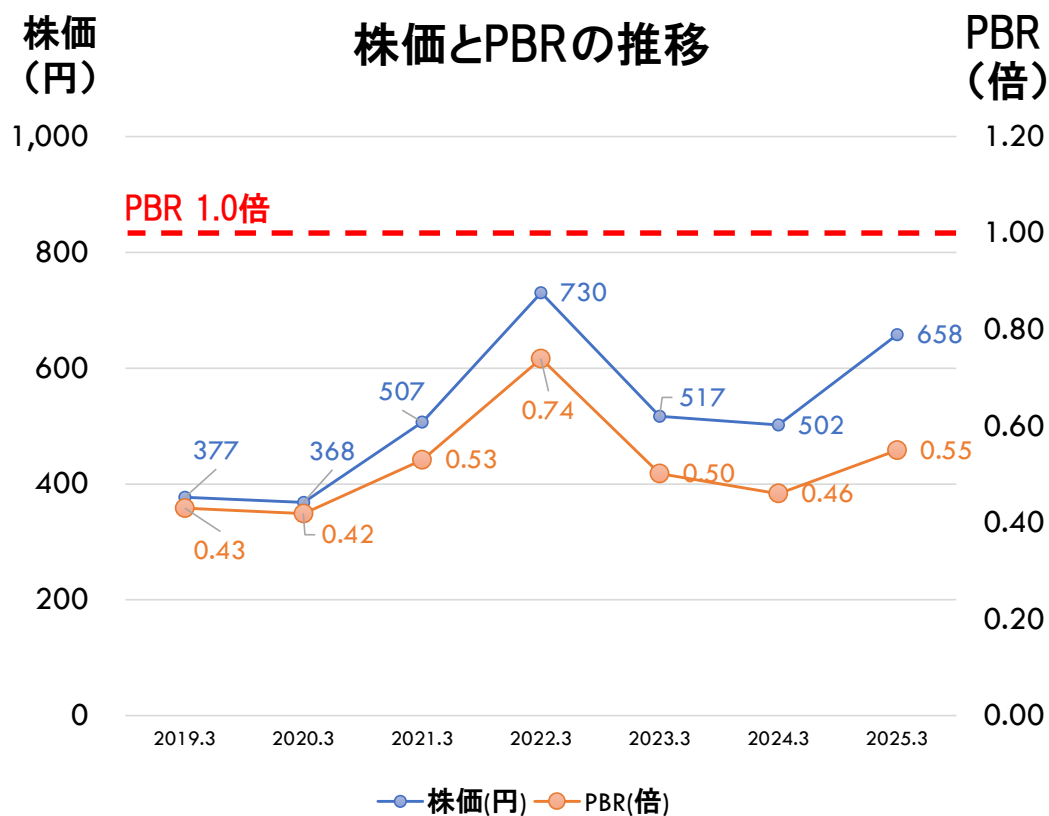
目 標 : 当社の資本コストである4.86%を上回る**ROE 6%** を達成する。

達成時期 : 3年後(次期中期経営計画1年目)の2027年3月期

2. 現状分析－1（2025年3月期の当社の各指標について）

指 標 名	単位	2025年 3月期①	2024年 3月期②	増減 ①－②	計 算 式
P B R (株価純資産倍率)	倍	<u>0.55</u>	0.46	+ 0.09	株価 ÷ BPS(一株当たり純資産)
R O E (自己資本利益率)	%	<u>6.41</u>	4.38	+ 2.03	当期純利益 ÷ 自己資本 × 100
P E R (株 価 収 益 率)	倍	<u>8.88</u>	10.78	△ 1.9	株価 ÷ EPS(一株当たり純利益)
B P S (一株当たり純資産)	円	<u>1,191.1</u>	1,094.9	+ 96.2	純資産 ÷ 発行済株式総数
配当性向	%	<u>32.4</u>	34.4	△ 2.0	1株当たり配当額 ÷ 1株当たり当期純利益
株主資本コスト	%	<u>5.77</u>	4.86	+ 0.91	当社にて想定（CAPMによる）

2. 現状分析－2（当社の主要指標の推移）



PBRは依然として1倍を下回っているものの、ROEについては、2025年3月期に6.41%と想定資本コスト(5.77%)を上回った。

2. 現状分析－3（当社が考える市場評価）

$$\begin{aligned} \text{PBR} &= \frac{\text{株 価}}{\text{BPS(1株当たり純資産)}} \\ &= \text{ROE(自己資本利益率)} \times \text{PER(株価収益率)} \end{aligned}$$

【市場評価】

- ・**PBR**は、**0.55倍**で前期比＋0.09倍となったものの、長期ビジョンの着実な実行により、1倍を目指して更なる企業価値向上を実現していく。
- ・**ROE**は、**6.41%**で2027年度の目標である6%を前倒しで達成。
継続して、資本収益性の更なる改善に取り組む。
- ・**PER**は、**8.88倍**で前期比△1.9倍となり、業界平均と比較しても低いレベルと認識。

3. PBR改善に向けたこれまでの取り組み-1

(1)株主還元の強化

- ・配当性向**30%以上**の確保

- ① 2025年2月13日 配当予想を修正
2025年3月期の期末配当 **16円から22円** に6円増配
- ② 2025年5月14日 配当金の更なる増配を決定
2025年3月期の期末配当 **22円から24円** に2円増配

※ 前期比 **8円** の増配

- ・**自己株式取得**

2025年5月15日から上限1,000千株(上限700百万円)で実施中

3. PBR改善に向けたこれまでの取り組み-2

(2)資本収益性の改善

- ・2025年5月14日 中期経営計画(2023年度～2025年度)の
目標数値の上方修正
- ・米国現地法人(JAFEC USA, Inc.)の**安定した経営継続**
2025年3月期は、589百万円の当期純利益を計上

(3)**IR活動の充実**(2024年度の実績)

- ・決算説明会(アナリスト向けIRミーティング) 1回
- ・大阪証券記者クラブ所属記者との交流会 1回
- ・IR面談(オンラインミーティングを含む) 11回
- ・その他株主様からのお問合せに随時対応

4. 数値目標のアップデート

【長期】

最終的な目標 : **PBR 1倍**を達成する。

【短期】

目 標 : 当社の資本コストである4.86%を上回るROE 6% を達成する。

達成時期 : 3年後(次期中期経営計画1年目)の2027年3月期



短期目標のアップデート

短期目標のROE 6% を**2年前倒しで達成**(2025年3月期のROE 6.41%)
したため、**ROE 8%** を2年後(次期中期経営計画1年目)の2027年3月期を
目標とする(2025年5月時点の資本コスト5.77%)。

5. 数値目標達成のための具体策－その1

(1) 配当政策

配当については、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ財務体質の強化を考慮し、長期安定的な利益配分を行うことを基本方針としております。今後もこの方針を維持しつつ、配当性向については、30%以上を目標として、業績に連動した利益還元に努めます。

- 2025年3月期末の配当性向は32.4%、今後もこの方針を維持します。
なお、2026年3月期末の配当は22円、配当性向41.8%を予定しています。

5. 数値目標達成のための具体策－その2

(2) 資産の選択と集中

資産の選択と集中に注力し、将来成長に寄与する設備投資は、今後も積極的に継続して進めます。

- 2024年3月期の設備投資の総額:10億39百万円
2025年3月期の設備投資の総額:18億1百万円
今後も将来の利益拡大のために、積極投下を継続します。

(3) 自己株式の取得

自己株式取得については、株主還元や、ROEの上昇を目的として、これまでも継続的に実施してきました。今後も株式の状況等を判断して、適切に実施したいと考えております。

- 2025年5月から実施中。今後も、状況により判断し、適切に実施します。

5. 数値目標達成のための具体策－その3

(4) 政策保有株式に対する考え方と削減について

- 当社は、政策保有株式について、事業戦略上の必要性及び取引関係の維持・強化などを勘案し、当社の企業価値向上に資すると判断した場合にのみ保有し、その他については解消します。
- 毎年取締役会において、保有目的、保有効果、取得経緯の他、株式価値の変動や配当金による経済性等を含め、総合的に検証しています。

→ 2025年度中に、2社以上、簿価1億2百万円以上の解消を行います。

(5) 従業員向けRS(譲渡制限付株式)の導入

既に実施済みの役員向けの譲渡制限付株式報酬制度に加えて、人材育成や社内環境整備を目的として、取得した自己株式を従業員へ付与いたします。これにより、社員に対して、企業価値や株価に対する意識を高める効果を期待します。

→ 2年後までの導入を目指します。

5. 数値目標達成のための具体策－その4

(6) 米国現地法人(JAFEC USA, Inc.)の安定した経営の継続

これまで、長く赤字経営が続いていた米国現地法人(JAFEC USA, Inc.)は、2024年3月期に黒字化を達成し、2025年3月期は、純利益589百万円を計上しました。

→ 2026年3月期は、大型案件の前期完成の反動により、営業利益200百万円弱を目標としています。

(7) IR活動の充実

当社ホームページ等での情報発信を充実させ、株主や投資家の皆様に当社のことをより理解していただく機会を増やします。

→ 投資家への説明会を実施する等、今後も積極的な対応を行います。